

決済動向

— 平成11年7月 —

平成11年9月10日
信用機構室

1. 日本銀行における決済関連計数

7月の日銀当座預金決済（1営業日平均）は、件数ベースでは2.0万件（前年比-6.8%）、金額ベースでは134.6兆円（前年比-22.7%）となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は123.4兆円（前年比-22.8%）、民間の集中決済制度にかかる資金決済は5.5兆円（前年比-25.7%）となった。

7月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（1営業日平均）は、件数ベースで4.4千件（前年比-5.3%）、金額ベースで13.1兆円（前年比-20.3%）となった。また、日本銀行における振込国債の口座振替（1営業日平均）は、件数ベースで4.3千件（前年比+43.2%）、金額ベースで28.5兆円（前年比+58.5%）となった。

7月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで57.3万件（前年比+3.4%）、金額ベースで5.6兆円（前年比+0.3%）となった。

7月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高6.9兆円（前年比-14.6%）、支払高6.7兆円（前年比-11.3%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱件数・金額をみると、7月の手形交換高（東京手形交換所、1営業日平均）は、枚数ベースでは32.8万枚

（前年比-16.0%）、金額ベースでは3.0兆円（前年比-16.0%）となった。

7月の全銀システム取扱高（1営業日平均）は、件数ベースでは442.6万件（前年比+3.4%）、金額ベースでは8.0兆円（前年比-6.0%）となった。

7月の外為円決済交換高（1営業日平均）は、件数ベースでは3.8万件（前年比-16.0%）、金額ベースでは27.9兆円（前年比-38.1%）となった。

3. その他

7月の東京金融先物市場の取引数量（ユーロ円3ヵ月金利先物、1営業日平均）は7.5万契約（前年比-3.3%）、月末の建玉数量は130.9万契約（前年比-28.4%）となった。